

## 「越中いみず野 米一番」令和6年産米のポイント

- コシヒカリの田植えは、5月15日を中心に！
- 苗の老化防止(コシヒカリの育苗日数は19日間)

### 1 土づくり

#### (1) 春耕前に土壤改良資材や有機物の施用

土壤中のケイ酸やカリの不足を補うため、土壤改良資材(表1)を昨秋に施用していない場合は、必ず春に規定量を施用しましょう。また、地力が低いほ場では、有機物(表2)を施用し、腐植含量を高めて、地力の向上を図りましょう。

表1 土壤改良資材の施用量の目安

	土壤改良資材名	施用量 (kg/10a)	成分量 (%)	
			ケイ酸	カリ
NEW	シリカエールプラス	100	25.0	-
NEW	加里入りシリカエールプラス	100	23.0	3.0
	グリーンウェイブDXペレット	100	31.2	2.9

「もみ殻」から生まれた土壤改良資材



表2 有機物の施用量の目安(春施用)

有機物名 (堆肥名)	施用量(kg/10a)			成分量 (%)		
	乾田	半湿田・粘質田		窒素	リン酸	カリ
発酵鶏ふん*	100	75		1.9	6.4	4.4

\*発酵鶏ふんを春施用した場合は、  
水稲基肥窒素を1~2kg/10a減肥する。



図1 ケイ酸の施用効果

#### (2) 作土深15cm以上

耕起時は作業速度を遅くして、作土深15cm以上を確保しましょう。  
畦畔からの水漏れを防ぐため、畦塗り作業は丁寧に行いましょう。

### 2 畦畔雑草の処理

4月下旬までに、水田畦畔等の草刈りや除草剤散布を行い、イネ科雑草(図2)の発生を抑え、カメムシ類の生息地を減らしましょう。



スズメノカタビラ スズメノテッポウ

図2 イネ科雑草

### 3 適切な育苗日数の設定

5月15日田植えの場合は、播種から田植えまでの日数は19日間を目安としましょう。

育苗日数が20日以上の「老化苗」では、初期分げつ(2節分げつ)の発生率が、急激に低下します

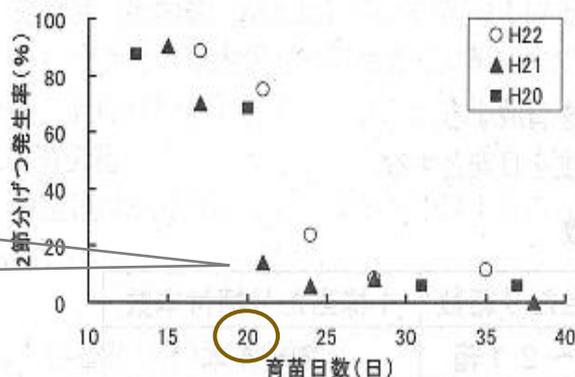


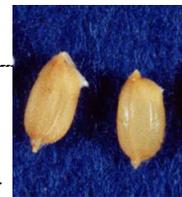
図3 育苗日数と初期分げつ(2節分げつ)発生率

(裏面に続く)

## 4 田植日に合わせた育苗計画 (1) 育苗計画の目安と管理のポイント

R6年用種子は、登熟期間の高温により、休眠が深いので、出芽が揃うよう、平年に比べ、浸種日数を1～2日程度長くする！  
富富富は、より長めの積算温度140℃・日程度にする。

品種	てんたかく	コシヒカリ	富富富	新大正糯	温度管理	作業管理のポイント
浸種	3/28	4/16	4/14	4/23	水温 10～15℃	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水温10～15℃を確保し、積算温度120℃・日程度となるまで浸種する。</li> <li>※特に浸種初日は水温12.5℃を確保!!</li> <li>○種籾が十分浸かるよう、籾:水=1:2の割合の水量を確保する。</li> <li>○水の交換時には籾袋を上下入れ替える。</li> <li>○浸種完了:籾の胚乳がアメ色で透明になった頃</li> </ul>
芽出し (催芽)	4/9	4/25	4/25	5/1	育苗器 30℃で 24時間 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芽の長さをこまめにチェックする。</li> <li>○袋に種籾を入れすぎないようにし、上段と下段を入れ替えたり、袋を裏返すなど、ムラなく芽出しする。</li> <li>(籾は浸種袋の5～6分目まで) &lt;芽出しの程度:1mm&gt;</li> </ul>
播種	4/10	4/26	4/26	5/2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○芽出籾はしっかり水を切る。</li> <li>○播種量(乾籾で120g/箱、芽出し籾で150g/箱)を厳守する。</li> <li>○播種時にナエファインフロアブルを1箱当り2000倍液・1000cc灌注する。</li> <li>※播種同時処理の場合:ブーンレパード箱粒剤(覆土前 50g/箱)</li> </ul>
出芽	約3日間				育苗器 30℃	<ul style="list-style-type: none"> <li>○30℃を超えると病気が発生しやすいので注意する。</li> <li>○事前にサーモスタットで確認し、手持ちの温度計でも確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ハウスに温度計を設置しましょう</div>						
搬出	4/13	4/29	4/29	5/5	ハウス 昼:25℃ 以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出芽揃い(芽長は1cm程度)を確認する。</li> <li>○ハウスに搬出直後は、覆土を落ち着かせる程度にかん水する。</li> <li>○高温時に搬出した場合は、しっかりかん水するとともにハウス内が25℃以上にならないように換気を行う。</li> <li>○低温時の搬出は、かん水を控え、被覆資材で保温に努める。</li> </ul>
緑化	2～3日間	約2日間			夜:10℃ 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○搬出後は、2～3日間程度被覆資材(寒冷紗やラプシート)で遮光し、緑化したら速やかに外し、ヤケや徒長を防ぐ。</li> <li>○日中は25℃以下になるように、換気を徹底する。</li> <li>○かん水は早朝1回を原則とする。</li> </ul>
硬化前期	4/16	5/1	5/1	5/7		<ul style="list-style-type: none"> <li>○気温が高い日中は、十分に換気にする。</li> <li>○かん水は午前中に行い、かけすぎないように注意する。</li> <li>○ファン等の高温時は、乾き過ぎないように、一日に数回かん水する。</li> </ul>
田植	5/2	5/15	5/15	5/20	目標(コシヒカリ):草丈12～13cm、第一葉鞘長3.0～3.5cm、葉齢2.2～2.4葉	
育苗日数 播種～田植	22日間	19日間	19日間	18日間	<b>【密苗の留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/15 植えの育苗日数は16日間を目安とし、慣行苗と比べ3～4日短くする</li> <li>・軟弱徒長苗になりやすいため、積極的に換気を行う</li> <li>・箱粒剤は1kg/10aになるように50～100g/箱に調整する</li> </ul>	



富富富は  
・ナエファインフロアブルを使用しない。  
・箱粒剤はアレスモンガレス箱粒剤を使用

## (2) 育苗中の病害対策

① 薬剤処理と適切な温度管理で病害の発生を防止しましょう。(富富富では使用しない。)

病害	薬剤	希釈倍率	散布量	散布上の注意
青カビ	ベンレート水和剤	500～1000倍	500ml 灌注/箱	散布時期は、播種時、又は、播種時+播種7日後頃 散布回数は、2回以内(種子処理した場合は1回)
ムレ苗 苗立枯病	タチガレエース M 液剤	500～1000倍	500ml 灌注/箱	散布時期は、播種時、又は、発芽後 散布回数は、1回のみとする
	ナエファインフロアブル	1000～2000倍	500ml 灌注/箱	散布時期は、播種時から緑化期 散布回数は、2回以内(播種時処理した場合は1回)

② JAからの購入苗は箱粒剤を散布済みです(育苗ハウスで野菜を栽培する場合に注意)。

～種子消毒等の廃液は適正に処理しましょう～

### 徹底しよう！農業機械の転落・転倒防止

⚠️安全フレーム付きトラクターの利用    ⚠️ヘルメットの着用    ⚠️シートベルトの着用

【お問い合わせは JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター射水班 TEL26-8478 まで】  
【JAいみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>】